

令和 3 年度
水産資源調査・評価推進委託事業のうち国際協調型調査事業のうち鯨資源調査事業
(北太平洋鯨類資源調査) 成果報告書

【受託者】

住 所 東京都中央区豊海町 4 番 5 号

氏 名 一般財団法人 日本鯨類研究所

1. 目的

本調査は、北太平洋におけるミンククジラ、イワシクジラ、ニタリクジラ、ナガスクジラをはじめ、シロナガスクジラやセミクジラ等の希少種を含むヒゲクジラ類を中心とした鯨類の分布状況の把握、並びにその資源量推定のための目視情報の収集を目的として実施した。

2. 調査体制

水産庁長官が一般財団法人日本鯨類研究所に委託し、それに基づいて勇新丸（724 トン、共同船舶株式会社所有）を用船して実施した。

3. 調査期間

令和 3 年 8 月 4 日 下関出港

令和 3 年 9 月 30 日 塩釜入港

4. 調査海域

調査海域は、公海上における北緯 40～53 度、経度 180 度～西経 155 度における範囲とした。

5. 調査結果（表 1）

目視調査の全調査期間における合計探索努力量（往復航海を含む）は 1919.8 浬、調査海域における探索努力量は 1,720.5 浬であった。合計 381 群 1,536 頭の鯨類（イルカ類含む）が発見され、そのうち、種が特定できたものが 15 種（ヒゲクジラ類 6 種、ハクジラ類 9 種）であった。

自然標識の撮影はシロナガスクジラ 12 個体、ザトウクジラ 5 個体について実施した。

バイオプシーサンプルはイワシクジラ 15 個体、ナガスクジラ 5 個体、シロナガスクジラ 1 個体、ザトウクジラ 3 個体から採取した

衛星標識はイワシクジラ 12 個体、ナガスクジラ 7 個体に装着した。

6. 調査記録等の保管

全ての記録類は調査終了後、一般財団法人日本鯨類研究所資源管理部門が保管する。本調査の詳細な結果は、IWC 科学委員会をはじめとする国際機関等において発表を予定している。

表 1. 種別発見群頭数（往復航海を含む）

鯨種	発見		自然標識撮影 (頭)	バイオプシー採取 (頭)	衛星標識装着 (頭)
	群	頭			
ミンククジラ	1	1	0	0	0
ニタリクジラ	24	26	0	0	0
イワシクジラ	102	156	0	15	12
ナガスクジラ	77	123	0	5	7
シロナガスクジラ	17	20	12	1	0
ザトウクジラ	13	16	5	3	0
マッコウクジラ	47	52	0	0	0
スジイルカ	0	0	0	0	0
マイルカ	7	288	0	0	0
カマイルカ	16	417	0	0	0
セミイルカ	5	237	0	0	0
ハナゴンドウ	1	3	0	0	0
カズハゴンドウ	0	0	0	0	0
シャチ	7	18	0	0	0
リクゼン型イシイルカ	2	4	0	0	0
イシイルカ型イシイルカ	11	74	0	0	0
型不明イシイルカ	7	27	0	0	0
種不明アカボウクジラ科鯨類	4	11	0	0	0
種不明オウギハクジラ属鯨類	2	4	0	0	0
種不明イルカ類	0	0	0	0	0
種不明大型鯨類	0	0	0	0	0
種不明鯨類	7	7	0	0	0
種不明ゴンドウクジラ鯨類	1	18	0	0	0
ナガスクジラらしい	3	6	0	0	0
イワシクジラらしい	3	4	0	0	0
ニタリクジラらしい	0	0	0	0	0
イワシ/ニタリらしい	1	1	0	0	0
種不明大型ヒゲクジラ類	22	22	0	0	0
ミンククジラらしい	1	1	0	0	0